

～PTA 教育講演会～

PTA 教育講演会へのご参加ありがとうございました。環境活動家の谷口氏から「気候変動と自己肯定感」をテーマに貴重なお話を聴かせていただきました。

世界で起きている気候変動による災害や消えていく動物たちの命など地球が面している危機に対して「無関心ではいられるけど、無関係ではいられない」「一人の100歩より100人の1歩が大切」など心に残るメッセージをわたしたちに残されました。子どもたちは真剣な表情でお話を聴いていました。いくつか感想を紹介します。引き続き、本校ではSDGsの学習や自己肯定感を高める取り組みを続けていきます。

★子どもたちより★

- ごみのごみ処理場に行くのではなく、ちがう国にごみがいって海に流れているのにびっくりしました。
- このまま無関心でいくと大変なことになってしまうんだと思いました。
- 食品ロスは日本がダントツで多いことを知り、これからは食べ物を残さないようにしようと思った
- プラスチックのごみを減らし、海の生物を助けたいと思った。
- ごみをゼロにすることは無理かもしれないけど、ゼロに近づけるようにしたい。
- 人間がおかした過ちは、人間にしか解決できない。
- 一人の100歩より100人の1歩が大切だってことを聞いてその通りだと思った。
- 地球が面している課題に無関心ではいられるけど、無関係ではいられないことが分かりました。
- 人間だけ幸福はだめだと思いました。
- 私もボランティアのお仕事をしてみたいと思いました。
- 1番はじめになくなるのは、自然ではなく平和であることを知った
- プラスチックを減らす方法を考えたい。
- ホッキョクグマなどの動物が死んでしまうのはこっちまでなけてくる。地球温暖化なくなっほしい。
- 南極の気温が20度まであがっているのが衝撃でした。
- 地球は昔より便利になったけど、温暖化のせいで洪水、火事、台風などがたくさんおこっている。
- 環境問題のせいで貧しくなった人が、子どもや自分の内臓を売ったりしていることがこわかった。
- ぼくにできることは、給食を残さず食べることだと思った。
- 谷口さんのお話を聞き、今日は給食を減らさず、全部食べ、さらにおかわりもしました。
- ある外国では3分の1の土地が海に沈んだなんて、日本でおこったら怖すぎると思った。
- 平和がなくなり、残ったものをうばい合いするなんていやだと思った。

★保護者の方より★

- ニュース等でも気候変動のことは耳にしていたのですが、自身の心には入ってなく、どこか人ごとの感覚でいました。自分が変わっていった子どもにも自己肯定感を持てるように育てたいと思いました。そして環境改善、世界平和につなげていけたらと思います。
- 自然災害の経験もほとんどない。食にも困っていない。冷暖房が整っている環境で育っている子ども達は恵まれている一方で、感謝知らずで言葉は悪いですが平和ボケしていると感じています。何に対してもですが、知る事、出会う事、学ぶきっかけやチャレンジする事って本当に大事だと思います。自分を取り巻く物、人にどう向き合うべきかよく考え、自分で行動をおこせる人になってほしいなと感じました。
- よく聞く地球温暖化やSDGsについてのお話かなと思っていました。しかし、ニュースで見たことのある自然災害の現場に行っていたり、日本で処理しきれないゴミが外国でお世話になっていたり、現実をつきつけられたようでした。義務脳と権利脳の話はすごくおもしろかったです。子どもが自分で自分のことを決める権利を親の義務脳で邪魔してはいけないと思いました。

